

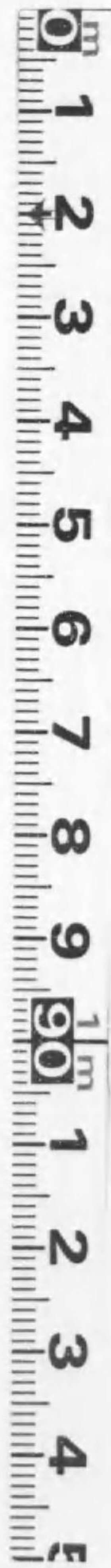
特115

812

智誠院主森南師著

觀相術

~~269~~
~~527~~

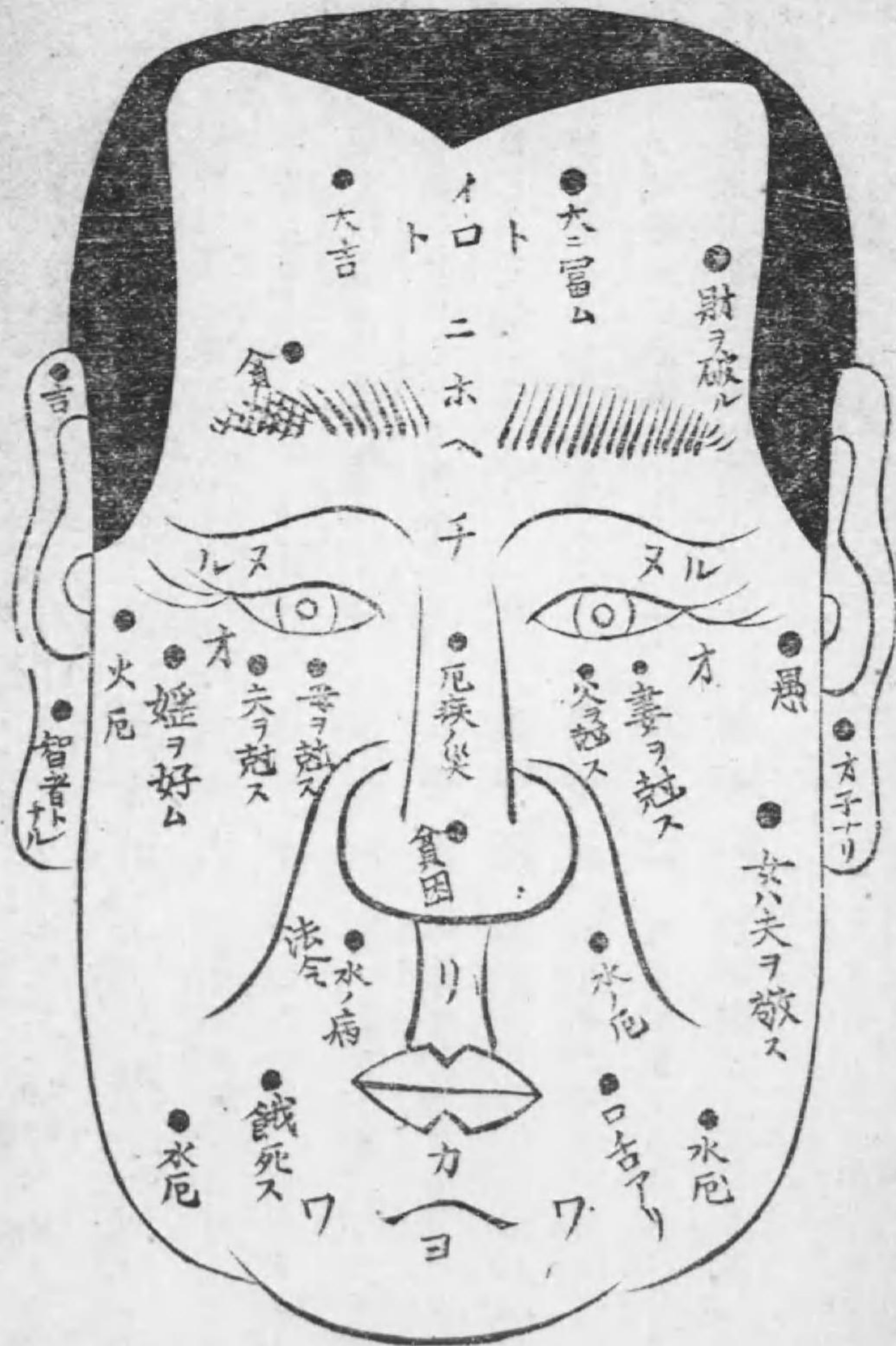


始



45115
p12

男子ノ面黒子



目次

| | | | |
|-----|-------------------|-------|---------------------|
| 第 一 | 將來出世すべき人……………一 | 第 十 一 | 萬事勞して功なき時……………八 |
| 第 二 | 大難來るの前兆……………二 | 第 十 二 | 老年開運するの人……………八 |
| 第 三 | 惡心ある人……………二 | 第 十 三 | 老年不仕合となる人……………九 |
| 第 四 | 貧乏の生分……………四 | 第 十 四 | 結婚すべからざるの人……………二〇 |
| 第 五 | 財産の豊なるべき生分……………四 | 第 十 五 | 一家を破産するの人……………二〇 |
| 第 六 | 長壽の人……………五 | 第 十 六 | 親の家を相續してよき人……………二 |
| 第 七 | 剛膽なる人……………六 | 第 十 七 | 他郷に住して發達する人……………二 |
| 第 八 | 剛膽に見へて臆病なる人……………六 | 第 十 八 | 毒婦姦婦の特徴……………三 |
| 第 九 | 縁談成就するの時……………六 | 第 十 九 | 貞操にして夫を助くるの婦人……………三 |
| 第 十 | 志願成就する時の前兆……………七 | | |



第二十 養子となるべき人及びそ

の善悪……………三

第二十一 目上に背くの人……………四

第二十二 愚者。賢者の特徴……………四

第二十三 今より運開く人……………五

第二十四 今より運衰ふる人……………六

第二十五 近き内に善事來るの前兆二六

第二十六 近き内に惡事來るの前兆二七

第二十七 子に縁薄き婦人……………二八

第二十八 雇ふべからざる人……………二九

第二十九 人に雇はれず獨立してよ二〇

き人……………二〇

第三十 黒子の善悪……………二〇

目次終

觀相術

將來出世すべき人

森南師著

顔何處となて自然に豊かにして皮膚厚く肉縮り、眼細長く優しく眼の奥に威あり
額廣く鼻筋通り、小鼻怒りて肉厚く豊かにして而も目立たず、顔色紅にして潤
ひあり、口元常に締りて聲に餘韻ありて、恰かも瓶の中にて物いふ如く言語判然と
別りよく、眉毛並びよく長く齒並よく玉子色喜怒を顔色に現はさるもの、耳大き
くして肉厚く外側に張り耳の穴大なるもの歩行正しく身重く足軽く、歩むに腰に力
ありて自然静かなる人

右の中五相以上調ひたる人は發達すべきの人、八相以上ある人は人に勝れて大發
達すべし

大難來るの前兆

二

眼中に赤筋出で、瞳を貫きたる時、眼の周圍に細き青筋出づる時、額に煤を掛けたるが如く曇りの出でたる時但しこの曇りは人によりては判然せず、常に汚れたる如く見ゆる人あり、常に揃ひし眉毛亂して上下に行き違ふ時、眼の下、耳たぶ、口の周りに薄黒き色出でたる時

右の中一ツ現はれたる時は災難近き内にありと心得て注意すべし、二相以上現はれたる時は大難不意に來るべし大に警戒すべきなり

悪心ある人

心中に悪意ある人程人に優しく見せ掛け、人の機嫌を得んとするものなりされば何人もよくこの章を記憶して置くべきなり、假令美事美言を以て吾れに來るも決して油断せず敬して遠ざくることを務むべきなり、諺に君子は危きに近づかずと人と對話する時我が顔又は眼を人に見せざる様にするもの、眼つき烈しく光りあるもの、眼中半濁にして判然せざるもの、眼の黒玉上下何れかに片寄れるもの、眼の周圍薄黒きもの、眼の瞳の周り晴といふところに赤き輪あるもの、又は車の輪の如き筋あるもの、容貌女の如く柔和綺麗にて色青み勝ちにて白く好男子の如く見ゆる人にて眼に光り浮び、又人を見る時眼つきに勢ひあるもの、言語判明ならず口中にて物いふ如きもの

以上の中假令一相たりともある者には油断すべからず、二相以上あるものは外面優しくとも内實は惨忍なる人なり

この外鼻の先き尖り、又は下向き恰も鳥の口嘴の如きものは慾心深く足る事を知らず遂には悪意を狭むの恐れあり、頤の骨(耳の下)特に突出たるもの、猿の目の如きもの。馬の嘶く如き笑ひ聲のもの。以上は奸惡奸曲なり

眼の上下とも白眼常にあるか、黒玉上下何れかに片寄りたるもの、眼の黒玉常に横に動く者は、盜心あり、人と應對する時、又は遇然會つた時、相手の顔をのぞ

き見する如き者は必ず疑ひ深き人たり

貧乏の生分

初めて見たる時何處となく淋しく、我心をして陰に閉じ花の萎むが如き感をなさしむるもの、顔の割合に鼻の肉薄く小鼻張らず無きが如きもの、聲に力なきもの、頬骨左右の内何れか一方上り一方下り力なきもの、毛髪常に塵のつきたる如く不潔らしく粗なるもの、顔面煤けたる如く薄黒きもの、口元常に締りなく齒を現はし居るもの、下唇力なく垂るゝが如く薄きもの、足の股に肉薄く特に瘦せたるもの、右の中二相以上あるものは生涯貧窮にして苦勞多し

財産の豊なるべき生分

頭惱左右耳の上のところに肉豊かに満たるもの、眉尻より約二分程上のところ凹ます肉多くあるもの、鼻の肉厚く堅く小鼻怒りて美はしきもの、聲に締りありて餘韻あるもの、口閉ぢたる時小く開きたる時大きく開くもの（自己の券を容れ得るも

のは最もよろし）耳輪廓正しく厚く堅の輪廓の下部垂れたる所大なるもの、身体瘦せても何となく清く暖氣ある如きもの、頤骨高からず低からず肉締りて色澤宜しきもの、頤の邊肉付きよく肉に締りありて二重頤となるもの、座形大山の如く落付きたるもの

右の中一相あれば身分相應に福分あり二相以上あるものにて眼細長く優しきものは衆人に優りて發達すべき人なり

長壽の人

吾れと對座する時自然に我心をして豊かに安く感せしめ神氣強きもの、眼細長きもの、眉毛に長き毛あるもの、鼻の下の溝長きもの、耳の後の骨突出したるもの、耳の穴太く毛あるもの、眼の瞳締りあるもの、額の長きもの、右の中一相ある者は五十歳以上二相以上ある者は六十歳以上の長壽を保つ人なり

剛膽なる人

顔而長くして眼中尖き光りあり、耳の下顎骨肉ありて張り出て顎の先反るが如きもの、眼色青白く眼に深光ある者
右の中一相あるものは剛膽にして物に恐れず

剛膽に見えて臆病なる人

胸毛澤山あるものは最も憶病なり、常に眼ばたき多くするもの、蜜柑の皮の如き面色の人丸顔にして獅子鼻の人、鼻小さくして細き人
以上の中一相以上あるものは膽病者にして而も強膽を装へり、斯かる人は心中惡意含まるること多し故に成べく遠ざけ置くべきなり

縁談成就するの時

縁談の成否並びにその吉凶、相性の如何は筋の上に非らざれば判然し難し、然れ

ども筋は複雑にして素人には了解し難き點あり、依て今は何人も一讀了然たるものを擧ぐ讀者中結婚せんとせらるゝ方は一度余が門を叩いて吉凶成否如何を質さるべし、蓋し人生の最大要件なればなり

眼の周圍及び眼尻のところ湯上りの色の如くほんのりと紅色出でたる時には結縁成りて喜びあり、又眉と眉との間光澤ありて滑かなる時亦同じ、然るに眼の周圍と眼尻に煤けたる様なる色いつる時又潤ひなき時或は噴出物ある時は縁談成らず、若し無理に強ひて調ふるも暫くにして破るべし

志願成就する時の前兆

眼の瞳常より小さく見ゆる時
眼の黒玉は一般に曇りたる日は開きて大きく晴天には縮りて小さく朝夕開き日中縮るものなり、觀相には正午頃をよしとす
眉と眉との間鼻の上印堂と稱すところ紅色現はるゝ時、鼻の頭綺麗にして光

澤ある時、鼻のをぶげ上に向ひ居る時、頬額共にさつぱりとして湯上りの如く見ゆる時は我志望成就すこれ等の前兆ある時は進みて功あり利益あり他人の信用あり

萬事勞して功なき時

顔面何處となく煤けたる如き時、眼の瞳開きて大なる時、眉と眉との間に油を塗りし如く油汗の浮びたる時、鼻の先垢の附着せし如く皮膚自然と見苦しき時
右の中一相ある時は萬事成就せず故に保守せざるべからず、然し吾人の身体は常に新陳代謝しつゝあるものなれば、例令今不成就の相あるも、漸次回復すべきものなり

老年開運する人

頤の骨凹ます肉つきよく豊満にして肉に締りあるもの、瘦せたる人にては口の周圍綺麗にして口縮りよきもの、鼻の下の溝に疵黒子なく劍先きの如くになりて締りある者、毛髪自然に薄くして毛に光澤あるもの又は禿上るもよし、口元何となく愛嬌を含むもの、眼の下の肉潤ひあるもの、聲細くとも余韻ありて物いふに落付き語聲延やかに續くもの

老年不仕合せなる人

右の中一相以上ある人は老て必ず開運し安樂なり二相以上ある人は益々よし

眼大なる者眼つきするどく怒るが如きもの、鼻の先肉薄く尖るもの、頤肉締りなく垂るゝが如きもの、聲力なくノの如きもの、聲判然せず言語切れ々なるか又は聲散りて何をいふたか不明なるもの、眼つき(ニラム)が如きもの、足の股に肉薄く股細きもの、耳鼻柔かなるもの、膝の肉薄く筋を現はすもの、口の邊淋しく肉に締りなきもの、頬骨片々上る者

右の中一相ある者は假令現在宜敷とも老て必ず不仕合せとなる、二相以上あれば貧困辛苦年を重ねるほど烈しくなる

結婚すべからざるの人

眼尻より生際までの間に肉の凹みたる所あるもの、常に何か物考へして居る如き舉動のもの、鼻の根元の眼と眼との間、摘み上げたる如く肉なく骨高きもの、又人に勝れて鼻の根元落ち入りて平かなる者

右の中一相以上あるものと夫妻の關係を結ばゞ必ず一家破産すべし

一家を破産するの人

眼大にして光り強きもの、鼻少しく曲るもの、眉と目との間に黒子疵あるもの、眉尻の二分程上に黒子疵あるもの並びにこの處薄黒く煤けたる如き色のもの、眼の周圍薄黒く肉薄く眼の引込みたる如きもの、或は出目のもの、座形落ちつかざるもの、若年より髪が生際禿げ上るもの（但し四十歳以上に至らばこの相ある人は吉）腰に力なく歩行するに身の曲れるが如きもの、並びに人に勝れてさうくしき者

右の内一相たりともある人は必ず破産す二相以上あるものは再三失敗破産すべし

親の家を相續してよき人

眉と眉との間の五分程上のところ 古書に印に黒子疵なく肉凹ます豊満なるものは祖父の家を相續す（孝心厚し）耳の中のヒダ突出せず外のヒダより少しく低きもの、又顔セ、コマシカラズ心落付きたるもの、左の眉と目との間廣く黒子疵等の障りなきもの

以上の中一相あるものは親の家を相續すべし、この外眉と眉との間の處より五分程上の處に豆粒位の疵一つあるものは弟たりとも親の家を相續すべき人にて孝心あり親屬の信用厚し、但しこの處に黒子あるは大凶にて萬事望み八分通りにて破る又兄たりとも相續せず

他郷に住して發達する人

眼尻の處より少々上まで肉薄く凹みたるもの又はこの處に黒子瘡あるもの、耳のヒダ出たるもの、願短かく引込みたるもの、願横に曲るもの、鼻の根本に瘡あるもの

の、鼻の根本ツマミたる如く高きもの又は低くして鼻の根なきもの、眉と眉の間に縦筋際立ちあるもの、常に大言壯語のもの、舉動落付き又は騒がしきもの、人と對話中眉毛動くもの、上唇上に反り上りたるもの、常に用なきに座を立つもの、頤に黒子瘡あるもの、鼻の元に黒子瘡あるもの、足の股に肉薄き者

以上の相ある人は他國に住せざれば發達せず又頤の角廣く圓滿なるものは常に旅行するもの、鼻の先赤きもの俗にザクロ鼻と稱する人は住居落つかず、又足る事を知らず終生東奔西走す

毒婦姦婦の特徴

總べて眼中は人心の善惡を現はすものなれば大いに注意すべきなり、眼中に上光りあるものは多淫にして不義す、鼻の下の溝横に曲りしもの、咽ダンゴ(女に限る)あるもの、肉綿の如く柔かなる者

以上の中一相あるものは極めて多淫卑賤なり、又眼の白玉青色のもの、鼻の尖肉

薄く骨立ち尖るもの、首大きなもの、笑ふに齒を現はさず冷笑する者

右の相あるものは薄情なり二相以上あるものは淫婦奸曲なり

貞操にして夫を助くるの婦人

背肉厚く丸きが如きもの、言語ヲダヤカにて心落付きたるもの、喜怒に心を動かさぬもの、肩丸く肉ありて鼻筋肉付よく鼻先きに肉あるもの、唇の上下小筋多く色赤き者、眼付僻なくヲダヤカなるもの、眉毛並びよく清く揃へて三日月の如き者

右の中一相あれば心中より二相以上ある人は夫を助けて家産を興す

養子ごなるべき人及びその善惡

鼻の根元より眉頭の處までに米粒位の瘡跡二つ三つあるものは養子に行く、又行きて吉、家内和合すべし

頤の先き少しく凹みたるものは養子となる

眉と眉の間より五分位上の處肉薄く凹みたるものは養子となりて我一存にて萬事

成るべし、齒の亂グヒなるものは養子となれば後離別さるべし、眉を時として動かすもの、目上に背くの相（次の章に出す熟讀せらるべし）あるものは養子となすべからず一家離散破財すればなり

目上に背くの人

額に瘡あるもの、唇特に出でたるもの、鼻割合に高さもの、額毛の生際に毛の卷目あるもの、眉を時を動かすもの

以上の中一相あるものは目上に背く人なり

愚者 賢者の特徴

人の賢愚は概して眼に現はるべきものなり、眼細長く清き黑白分明にして瞭なるもの、耳目より高く腦に引さつきたる如きもの、頬骨の處肉ありて高く勢ありてその骨耳の元まで通するもの、眉毛厚からず薄からず清く長く毛並よきもの、口元締りて鼻筋通りし者

右の中一相あればその人必ず才子なり二相以上ある人は賢者にして且つ福分あり必ず人の上に立つべき人なり

愚者は之に反し眼中濁りて勢ひなく聲散るが如く浮ぶが如くにして力なし、怒り易く喜び易く氣に落付きなし、頬骨流るゝが如き者、頭小さき者、口元締りなき者右の中一相ある人は常に失敗勝ちなり、二相以上ある人は愚鈍にして生涯成功發達せず

今より運開く人

額の下に勢ひある筋いでたる時、假令顔は淋しきが如くなりとも鼻の頭色善く光るが如く鼻の脇の筋古書に法令といふに黄色又は紅色現はれ筋判然と見ゆるもの、言語落付きて聲締り余韻あるもの、顔色湯上りの時の如くにして勢ひあり瞳縮りたる時以上の相ある時はこれより運開くべし

但し顔又は眼付恐ろしく何となく烈しく見ゆるは開運せず、眼元何となくやさし

く笑ひを含みし如きは開運すべし

今より運衰ふる人

耳の色煤けし如く見ゆる時、鼻の頭に毛穴見ゆる如き時、又毛穴に煤の滯りたる如き時、鼻の穴に赤毛少しく見ゆる時、顔一面に毛穴ありてこの穴に煤のタマリシ如く恰も梨子の皮の如くホツ／＼の黒點出づるもの、面部總体煤けたる如く薄黒くなりたる時

斯の如き相ある人は漸次不運となる二相以上出れば運悪く勞苦多く續き起るべし
以上の時には萬事手堅く扣目にすべきなり

近き内に善事來るの前兆

眉と眉の間より凡そ五分程上の處色より潤ひあり鼻の頭と耳の色光澤ありて綺麗に見へ且つ瞳縮りある時、平素と異りて顔一面に賑はしく尙ほその人の貌に見ざめなく我が心何となく涼しく表面笑はずして心中笑ひを含むが如き思ひをなさしむる

時はその人近き内に喜び事來たるべし

近き内に惡事來るの前兆

災ひ來る人の相は相對して何となく眼神定まらず、その体落付かず面色ウラメシキが如く又物に驚くが如く思はるゝなり

眉毛自然に逆立つとき

鼻の横に縦筋現はるゝとき

瞳を横切る筋の現はれたとき

斯くの如き舉動となれば必ず近き内に惡事災難來るべし

近き内に惡事來るの人は筋と血色とによりて明らかに現はれ居れども秘法となると複雑にして素人に見分け難きとによりてこれを省略し今は見分け易き點のみを記して無經驗なる人々に一見識別の出來る處のみを擧ぐ、讀者若し前相あらば余が門を叩かるべし

子に縁薄き婦人

總べて子の無有は面のみにては識別し得ず、然し縁の厚きと薄きは讀者諸氏が本章の意を了得しなば前知せらるべし、但し本章は子のなき婦人を指すにあらず子に縁薄き婦人を示すものなり、讀者誤解なからんことを望む

鼻の下の溝至つて深き人、又は淺くして平面に見ゆるもの、常にアカ抜けしたる如く見ゆるもの、目の下肉落ち入りたるもの、眼の下の肉色黒きもの、又は目の下に小筋多くあるもの、目の下五分位の處に黒子瘡あるもの、その外行相としては何心なく手を出す時に小指ばかり離して出すもの

右の中二相以上ある人は假令如何なる子ありとも親子の縁薄く互ひに助け合ふ事能はず

この外手の小指に瘡あるか、又は小指なき人も子の縁薄し

相理書(古書)には、唇紅薄く口青色を帯ぶるもの、全身圓く肌理細かに

して至りて色白く皮膚引張付けたる如く見ゆるもの、臍小さく淺く腹削りたる如く小さく腰骨うすく尻圓く小さく腰より肩までの間圓く見へて短きもの、乳の頭偏なるか、又は歪みたるか黄色なるもの、齒自然と白く尖りたるもの、臍邊突出して腹小さきもの、能く肥えて骨なきもの、以上は子なきの相なりと

雇ふべからざる人

眼つき悪しきものは一切雇ふ勿れ必ず悪意あり、額の毛髮の生際正しからず鋸の刃の如く參差なるもの、又は左右の形同しからざるものは目上に背くべし、齒並び悪しく亂ぐひなるものは虚言を吐く、頤長く顔僅かにても曲り、又は歪みたるものは信なく義なく恩を忘れ仇をなす、眼又はその附近ダレたるものを雇へば主人の運悪しくなる、鼻の先き肉薄く骨立ちて尖りし如き者は目上に反す。額に疵黒子あるものは我が意を通さんとして主人の意を用ゐず

右の中一相あるものは決して雇ふべからず必ず後悔する事あればなり

人に雇はれず獨立してよき人

眼の勝れて大なる人、又時として大いに開く人、眼の周圍黒き人、願細く願の邊何となく薄黒く曇りて淋しき人、齒の亂れたる人、齒の正しからず何れかに偏る者右の中一相以上ある人は他人に雇はるゝ事勿れ、中途に解雇せらるゝ事あればなり又長く雇はるゝとも雇はれて後悔することあり、故に假令當分如何なる困苦ありとも獨立して生活するを要す

黒子の善悪

圖中イに黒子あるものは生涯願望の叶はざる人にして目上の人の妨げを受くべし、慎むべし

イと眉毛とに黒子あるものは夫婦中睦しからず、故に結婚せんとする人は大いに注意すべし

ロにあるものは親の縁薄し一説にこの黒子ある人は市街または道路に倒死すること

ありと故に長途の旅は一人にてなさざる様にすべし

頭髮の生際にある人は男人は財を背じ女人は難産にて困む

ニホへに黒子ある人は生涯望事叶ひ難し然れども目上の人に依りて宿志を達することあり故に目上に萬事相談するに吉

トに黒子あるものは父母を尅す尤も左は父右は母女人はこれに反す又女人にしてこの黒子ある人は九夫にゆるることありといふ

ヘチの二ヶ所にある人は諸事障りあり大凶相なり

ヘリの二ヶ所にある人は男は決して長男に掛らず、尤も女人は吉相なり

兩眉の頭と兩の目頭と四ヶ所の中何れかに黒子ある人は、四十歳前後に大凶事起るべし

眉の中に黒子あるものは男女共氣高きものなりまたこの相は終りよく兄弟の縁無し然し女は再婚するの相なり

耳の輪にある人は聰明にして大吉なりまた孔の中にあるものは長壽、耳の根元にあるは才智に富める相なり

眼尻の上に黒痣あるは男は色慾に迷ひで危難を生ずべく女は目上の男に戀慕して進退谷まるの厄難あり大いに注意すべし

チにあるは男は妾を尅し妻は夫を尅す

へと鼻の左右三ヶ所に黒子ある人は稀に見るところなるがこの人は子の縁薄く萬事凶事多し

鼻の兩側にある人は道ならぬ色慾のため身を誤る

小鼻に黒痣ある人け女にありては月經の不順のために惱み苦しむ

鼻の孔の周圍またはその邊にある者は病のため常に苦めらる

眼の正上にある人は假令長男たりとも家督相続の出來ざる人なりまた生涯の中非常なる災難に罹る事あり

ヌル邊に黒痣ある人は一代の内すべての財産を散するの相なり、また男女ともに

人の風評に上るべき不義を働くべし

眼の正下に黒痣あるものは子を尅すまた疑ひ心深く男女ともに危難を醸すべし

瞳に痣ある人は男女共に氣高く人の恨みを受け易し又この人は大難に陥るの相なれば萬事慎重なるを要す

オの附近にある人は男は色情に苦慮し女は目下の男に戀慕したために危難を生ずるに至るべし

下脛に黒痣ある人は男女とも秘密の不義淫猥を重ぬべしまた盜心あるの相とす

リの中央上下に並びて黒痣ある人は常に病氣勝ちなり、またリの溝筋の中にあるは一般に性内急にして外慢なり、人との交際は下手にして人に容れられざるの相なりまた短命の相

リの中程にある人は妻を得ること易けれども子を得ること難し

口の角に黒痣ある人は水難にかゝるの恐れあり、また口の周圍にあるは夫婦の縁薄し、慎しむべし

男子にして口中に黒子あるは酒のために難を醸すべし然れども生涯食物は乏しからざる人なり

舌の上にある人は男女とも虚談のみをなし人を欺く

唇にある人は多辨にして甚だ淫猥なるものなり

フにある人は召使ひの者に就て非常なる損失を受く

カにある人は酔に乗じて女を誤らしむるかまたは女に苦痛を感せしむるものなり

ヨにある人は願望に就て大難に逢ふべしまた邪曲なることに關係し大難を被る、婦人は悉く産に悩む

法令の本にある人は親の臨終に會ふことなし、またこの人は職業上大いに悩むの相なり

頸筋の右左にあるは吉相なり尤も男女とも色慾深し、中央にある人は短氣にして苦

勞多しまた妻は夫を尅す

俗は喉佛の部分に黒痣ある人は夫は妻を害し妻は夫を悩ますものなり、これは甚だ

凶悪なる人なれば速に除去するを得策とす

後頭部の髪が生際に黒子あるは夫婦の縁薄くして常に家内に苦痛絶ゆることなし

掌の中央に黒子ある人は富貴にして立身出世すること疑ひなし

その外掌中にあるは皆吉なり、然れども手を握りて指にて塞がらざる部分にあるは吉ならず

手の指に黒子あるは吉なりされど掌の中にあるに如かず、すべて手に黒子あるは才智に富みたる人といふべし

胸に黒き黒子あるは吉なりその色赤きは男女とも短氣なり然し物覺へはよし

乳より一寸位の脇に黒痣あるものは生涯思ひ事絶へざるものなり、故に格別の苦勞

あるなり

臍の一寸脇に黒子ある者は男女とも夫婦の縁は淺からず又よき子を擧ぐべし

胸の下鳩尾の黒子あるは物覺えのよき人

胸及び腹に赤き黒子あるは幸福を得、黒きはこれに次ぎてよし

背骨の脇一寸位の部分に黒子あるは夭死の相

足に黒子あるは衆人に勝れて吉なる人、特に男人は左に、女人は右にあるを大吉の相とす

二天

附記

前に述べたるところのものは素人諸君をして吉凶善惡の大要を前知せしめんとするものなり

讀者諸君この小冊子記載事項の始終を記憶して人を相しまた自らを相しなば人生の

行路上大蹉跌決してなかるべきを保す

尙ほ進んで自己失天的特有の天命を知らんと欲せらるゝ方は著者の門を叩いて觀相を乞はるべし

因に著者は毎日自宅にて朝より午後四時までの間觀相の需めに應ず

觀相術終

二七

269
527

大正元年八月十三日印刷
大正元年八月十日發行

不 准 複 製

定價金拾五錢

著述者 東京市麻布區本村町一四五
發行者 智誠院主 森 南 師

印刷者 東京市麻布區本村町八十番地
井上弘太郎

印刷所 東京市全區全町全番地
井上活版所

發行所 東京市全區全町全番地
井上活版所

終

